

町長施策方針

夢ある未来へのまちづくり

3月4日に開かれた令和7年阿久比町議会第1回定例会の冒頭で田中清高町長が、令和7年度の町政運営について施政方針を述べました。抜粋して掲載します。

令和7年度は子育て支援として「こども家庭センター」を設置し、出産前から子育て期にかかる切れ目のない支援を行います。災害対策として住家被害認定調査から、罹災証明発行までを迅速化できるシステムを導入。また、災害時への備えと子どもたちへの熱中症対策のため、指定避難所である阿久比中学校体育館に空調を設置します。阿久比スポーツ村の整備として、愛知・名古屋2026アジア・アジアパラ競技大会のサッカー競技練習会場での採択を目指し、天然芝生化改設工事を行います。

機構改革による「町民のための新たな組織づくり」と「夢ある未来へのまちづくり」を主眼に置き、限られた財源を効果的・効率的に配分し、予算を編成しました。



1 自然と調和した心地よさが感じられるまちづくり



阿久比駅周辺整備のため、検討地区の選定などを愛知県の助言・指導を受けながら実施するほか、循環バス事業として令和8年度の再編に向けて計画を作成し、要望の多かった、バス停留所へのベンチ設置を行う。

市街地整備推進事業	3,605万8,000円
道路改良事業	1億584万9,000円
循環バス運行事業	3,562万2,000円
公園整備事業	3,026万4,000円 など

2 豊かな自然と共生する安全・安心なまちづくり

「環境課」を新設し、カーボンニュートラル推進事業として、住宅に設置する家庭用燃料電池システムなどの導入にも補助制度を拡充するほか、地域防災力の中核である消防団の装備を更新し、活動内容や魅力をPRして、団員の確保に努める。

災害対策事業	7,657万3,000円
板山高根湿地整備事業	310万8,000円
カーボンニュートラル推進事業	5,183万6,000円
ごみ減量化対策事業	1億1,281万5,000円
交通安全推進事業	2,724万5,000円
防犯対策事業	907万4,000円 など

